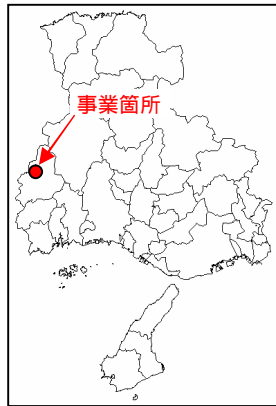


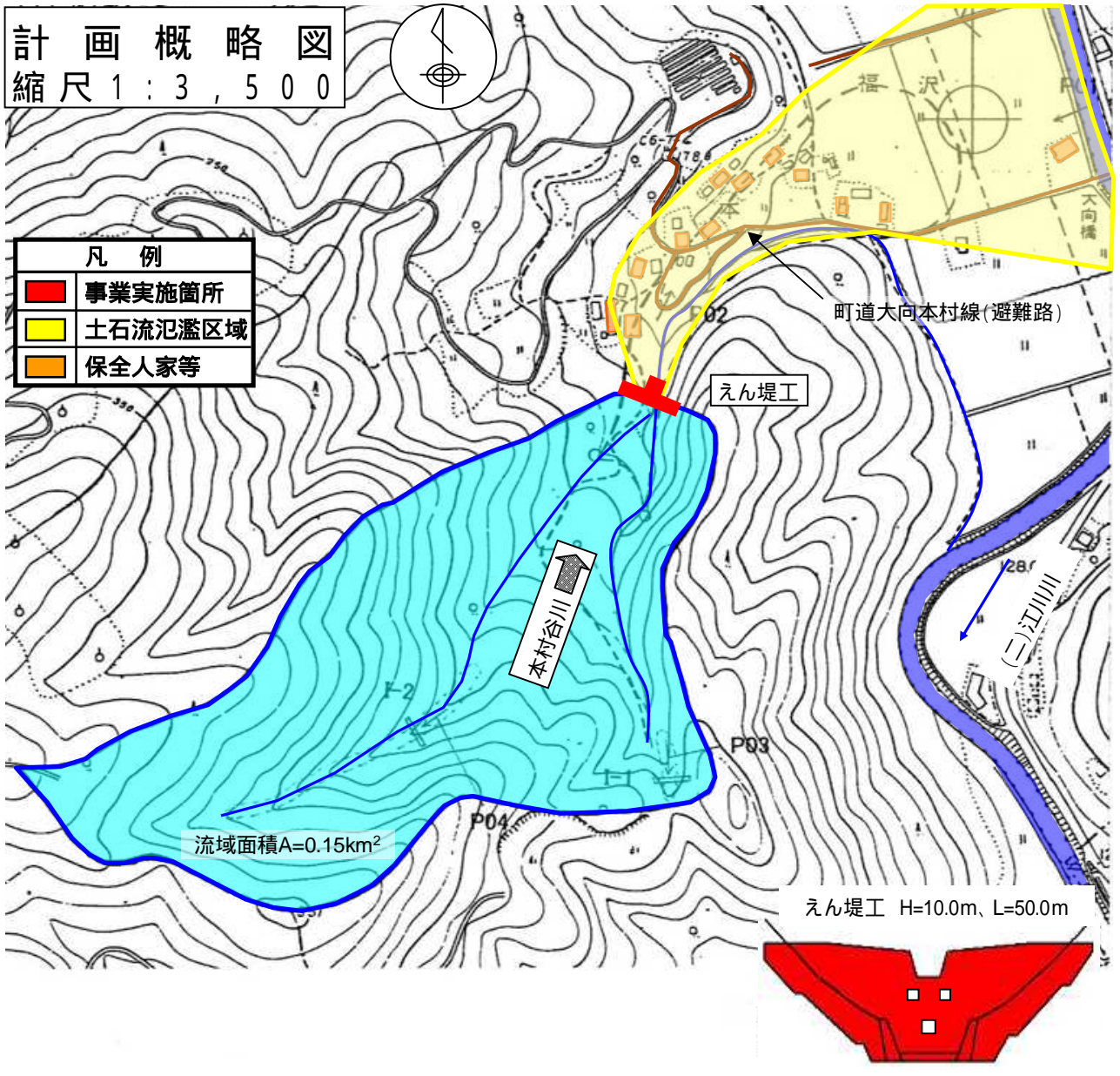
## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.7億円
		通常砂防事業 ほんむらたに 本村谷川	佐用町 ふくまわ 福沢	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
佐用町福沢				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 50.0m)  [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)千種川水系江川川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により山腹の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床土砂は不安定に堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ300m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・人家12戸、(二)江川川、町道(避難路:約400m)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・町からのえん堤建設要望も出されているなど、地元からの要望も強く、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時における避難路の確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。  以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

ほんむらたにがわ  
本村谷川  
[ 佐用町 ]



計画概略図  
縮尺 1 : 3,500



凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	土石流氾濫区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span>	保全人家等

